

ACCESS



会場へのアクセス

電車

- JR「千葉駅」東口より徒歩7分
- JR「東千葉駅」南口より徒歩3分
- 京成「千葉駅」より徒歩10分

千葉都市モノレール

- 1号線「栄町駅」下車徒歩5分

千葉内陸バス

- 千葉駅乗車～「市民会館」バス停より徒歩1分

車

- 京葉道路「穴川インターチェンジ」から約15分
- 京葉道路「貝塚インターチェンジ」から約10分

<駐車場について>

千葉市民会館専用の駐車場はございません。

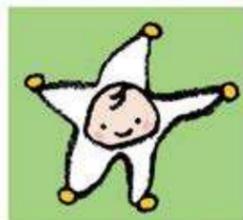
公共交通機関をご利用ください。

車でお越しになる場合は、周辺のコインパーキングをご利用ください。

お問い合わせ先

千葉県健康福祉部児童家庭課 内
令和元年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局

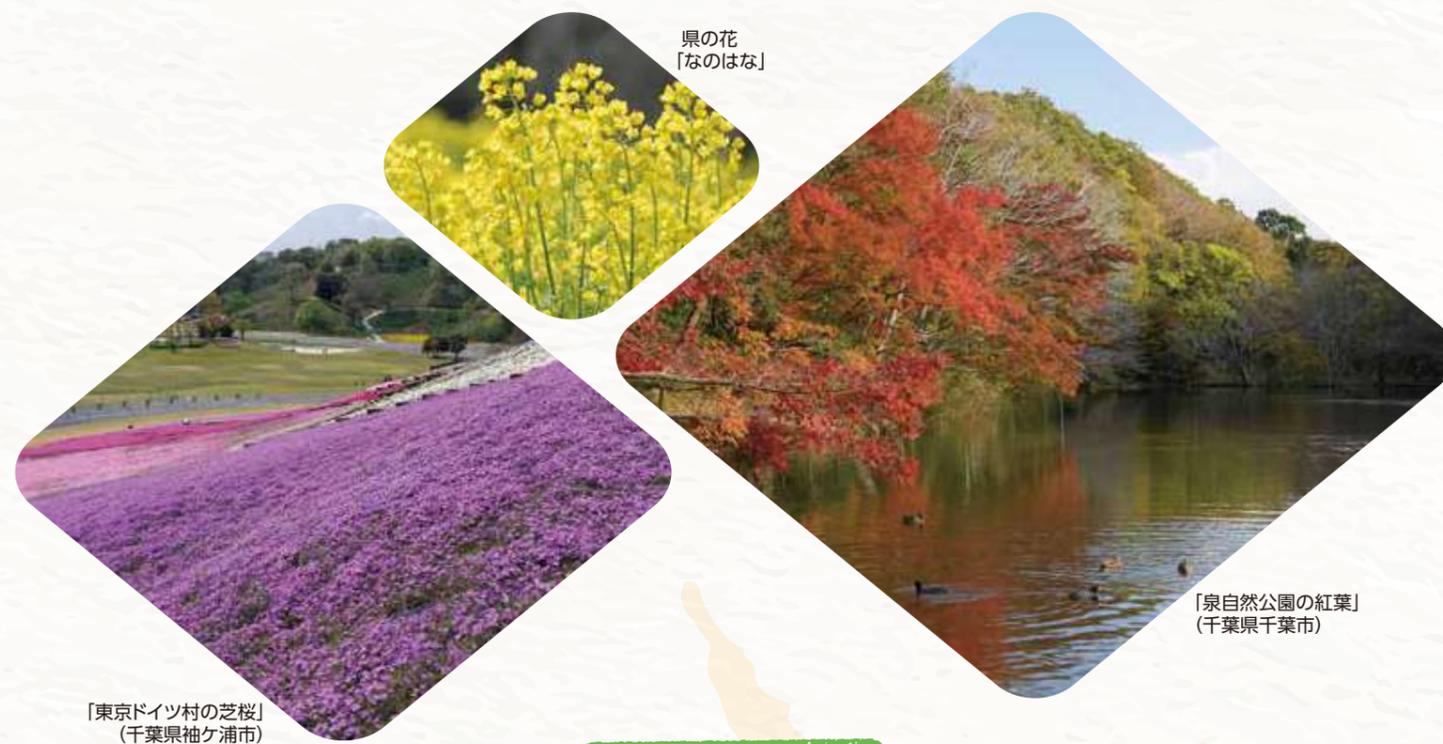
住 所) 〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1番1号
電 話) 043-223-2332 FAX) 043-224-4085



健やか親子21

みんなが主役!

～地域みんなで支える子育て～



令和元年度

健やか親子21全国大会

(母子保健家族計画全国大会)

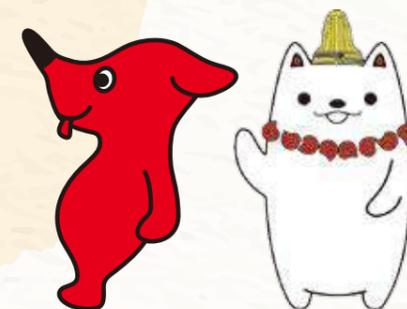
**参加費無料
要申込み**

期日 令和元年11月7日(木)～11月8日(金)

会場 千葉市民会館(千葉市中央区要町1番1号)

併設 母子保健関係者研究集会
愛育班等組織支援担当者会議
母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会
家族計画研究集会
全国母子保健推進員等連絡協議会正副会長会議

主催: 厚生労働省・千葉県・千葉市・社会福祉法人恩賜財団母子愛育会・
一般社団法人日本家族計画協会・公益社団法人母子保健推進会議



千葉県マスコットキャラクター
チーパくん

加曾利貝塚PR大使
かそりーめ

大会テーマ

みんなが主役!

～地域みんなで支える子育て～

少子化や核家族の増加など、家族形態の多様化が進み、家族や地域のつながりが希薄となっている現代社会において、「妊娠・出産・子育て」を家族や地域、職場や行政がサポートするために今求められていることは何か。そして、私たちにできることは何か、それぞれの役割を一緒に考える大会を目指します。



11月7日

土



式典及び特別講演

時間 10:30～14:20

会場 千葉市民会館 大ホール

9:30 受付

10:30 式典

挨拶／

厚生労働大臣・千葉県知事・千葉市長
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長
一般社団法人日本家族計画協会会長
公益社団法人母子保健推進会議会長

表彰／

厚生労働大臣表彰
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長表彰
一般社団法人日本家族計画協会会長表彰
公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

来賓祝辞

受賞者謝辞

次期開催都道府県挨拶 大阪府

11:50 休憩

13:00 特別講演

演題「子育てハッピーアドバイス
～子が宝なら、母親も宝～」

講師: 明橋 大二

(子育てカウンセラー、心療内科医、
真生会富山病院心療内科部長)

母子保健関係者研究集会

時間 14:40～16:00

会場 千葉市民会館 特別会議室2

テーマ 「発達障害～子どもが抱えている困難とは～」

講師: 齊藤 万比古

(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
愛育相談所 所長(小児精神科医師))

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

対象 愛育班員、保健師、助産師、看護師、保育士、
その他関心のある方

定員 100名(先着順)



愛育班等組織支援担当者会議

時間 16:30～17:30

会場 千葉市民会館 特別会議室2

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

対象 愛育班のある県・保健所・市町村の愛育班等
組織支援担当者

母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会

時間 14:50～17:50

会場 千葉市民会館 小ホール

表彰 「健やか親子21-8020の里賞(ロッセ賞)」
表彰、受賞対象作品紹介

講評: 公益社団法人 日本歯科医師会

講話 「マイナス1歳からのむし歯予防」

講師: 仲井 雪絵

(静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科 教授)

特別講演 「最近の母子保健を取り巻く状況」

講師: 小林 秀幸

(厚生労働省子ども家庭局母子保健課長)

11月8日

金



家族計画研究集会

時間 9:30～11:30(受付9:00～)

会場 千葉市民会館 大ホール

テーマ 「女性の健康を守る
～子宮頸がんから女性を守る～」

プログラム

開会にあたって

北村 邦夫(一般社団法人日本家族計画協会 理事長)

講演1

「子宮頸がんから女性を守る」

講師: 上田 豊

(大阪大学大学院医学系研究科 産科婦人科学講師)

講演2

「子宮頸がん予防を目的とした性教育実践」

講師: 赤澤 宏治

(千葉県立千葉工業高校 保健体育科教諭)

パネルディスカッション

「子宮頸がんから女性を守る」

進行: 杉村 由香理(一般社団法人日本家族計画協会 家族計画研究センター 部長)

パネリスト: 上田 豊・赤澤 宏治

主催 一般社団法人日本家族計画協会

対象 保健師、助産師、看護師、医師、薬剤師、養護教諭、
教職員、一般等

定員 900名(先着順)

シンポジウム

「妊娠期から子育て期の母が抱える背景を知り
継続支援へ ～DV、子ども虐待を中心に～」

座長: 佐藤 拓代(公益社団法人母子保健推進会議 会長)

基調講演I

「切れ目なくすべての妊婦・母子を支えるために
～虐待、関係性の築きを中心に～」

講師: 佐藤 拓代(公益社団法人母子保健推進会議 会長)

基調講演II

「支援にのりにくい人の背景を知る
～DVの現状と早期発見、支援のポイント～」

講師: 片岡 弥恵子(聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授)

事例報告 千葉県浦安市

主催 公益社団法人母子保健推進会議・
全国母子保健推進員等連絡協議会

後援 厚生労働省(申請中)

対象 自治体母子保健担当者、
母子保健推進員等地域組織の方、関心のある方

定員 200名(先着順)

※会場ロビーにて、「8020の里賞(ロッセ賞)」優秀賞受賞活動、
母推協議会活動の展示を行います。

シンポジウム

時間 12:30～15:00

会場 千葉市民会館 大ホール

テーマ 「親と子に寄り添う支援を目指して
～ご近所力の見せどころ～」

第I部

基調講演(12:30～13:15)

演題「子育てをシェアする住のネットワーク
～変わる家族と変わる住まい～」

講師: 篠原 聡子(日本女子大学家政学部住居学科 教授)

第II部

パネルディスカッション(13:20～15:00)

○コーディネーター

篠原 聡子(日本女子大学家政学部住居学科 教授)

○パネリスト

三好 玲子

(かしわ子育てまちづくりネットワーク・こことと 代表)

西原 淳子

(松戸市健康福祉部健康推進課中央保健福祉センター 所長
松戸市子ども部子ども家庭相談課母子保健担当室中央保健福祉センター 所長)

永森 久美子

(世田谷区立産後ケアセンター センター長)

藤山 ミツ子

(医療法人社団啓友会あべこどもクリニック 看護師・精神保健福祉士)